

『ピースプロジェクト』活動報告書

 NPO 法人『ピースプロジェクト』

 代表理事 加藤勉

この報告書は 2011 年の東日本大震災以降、『ピースプロジェクト』としての活動を記しています。

活動開始は2011年3月13日認定NPO法人『難民を助ける会』の一員として物資配布、 障害者施設の安否確認作業からスタートしました。

『ピースプロジェクト』としての活動は3月31日から、スタッフ、道具がないなかでの活動で最初は外部団体の援助を受けながらの活動開始でした。

NPO 法人となったのは 2011 年 10 月です。それ以前は任意団体としての活動となります。

それらの具体的な活動内容が次頁から記載されています。

本活動報告書は2012年3月から2012年12月31日までの活動記録です。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【『ピースプロジェクト』活動報告書】

≪2012 年≫

◎2012年3月10日(土)

岩手県、陸前高田市『広田保育園』への物資支援

(受益者数:120人)

支援物資:三輪車 8台、

お散歩車 2台

三輪車収納スタンド 2台

電波時計 1台

リラックマぬいぐるみ 20体

もともと98名の園児が通っていた保育園です。津波被災した保育園の再興 にあたり『ピースプロジェクト』として上記の物資を提供した。

広田町は町の大部分を津波が襲い、海に近い地域はほぼ壊滅状態でした。少 し高台にある『広田保育園』も1.5メートル近く津波につかりましたが、 園長先生の気転によって全員無事避難することが出来ました。

再興にあたって、建物は掃除と補修で回復しましたが、遊具類がながされて しまったので今回の支援となりました。







◎2012年3月11日(日)

岩手県、宮古市『赤前小学校』での震災復興追悼集会に参加協力

(受益者数:300人)

午前中、小学生20名を集めてお好み焼き教室開催(協力:お好み焼き協会)

午後、追悼集会に参加後、リラックマのぬいぐるみ100体、リラックマのバスタオル 50個、となりのトトロぬいぐるみ50体の物資配布

復興祈念餅つき大会(300食)提供

宮古市赤前地区も津波で大きな被害を受けた地区です。

小学校への入り口に建っていた『赤前中学校』は跡形もなくなっています。

震災当日の3月11日にこの小学校で行われた追悼集会に参加させていただきました。 一言では語れませんが、追悼集会に参加された皆さんが背負っていらっしゃる苦悩と痛 みは私たちには到底理解できないほと深いものであったことを再認識いたしました。 でも、追悼集会後の『復興餅つき大会』では皆さんこぞって参加していただき、とても 気合のはいった、盛り上がりのあるイベントとすることが出来ました。













2012年4月8日

宮城県、東松島市『小野仮設住宅』での炊き出し活動

(受益者数: 200 人)

メニュー: ビーフステーキ、ミネストローネスープ、炊き立てご飯、玉こんにゃく(協力: オージービーフ、ダディズオピニオン、マルヰアミューズメント、難民を助ける会)各 200 食提供

小野仮設住宅からの要望で炊き出し実施。子どもたちも大勢集まって『リラックマ』ぬいぐるみの配布等を行いました。













2012年5月5日

岩手県、陸前高田市『箱根山市民の森』で子どもまつり開催

(受益者数:1000人)

箱根山気仙大工伝承館の要望を受け、『ピースプロジェクト』が子どもまつりの企画、運営を受け、他 NPO 団体等と連結しながら祭りを実行しました。

このおまつりの為に、世界中から300本以上の鯉のぼりが集まり、会場は多くの鯉のぼりで埋め尽くされました。

当日は2000人以上の参加があり、忍者ショー、プロボクシング世界チャンピオンのトークショー、サイン会、多くの屋台など盛り上がる企画が山盛りでした。

主催:箱根山気仙大工伝承館 企画、運営:NPO 法人『ピースプロジェクト』

協力: NPO 法人ハンズ、NPO 法人遠野まごころネット、NPO 法人笑顔プロジェクト、ワールドフットサル、NPO 法人難民を助ける会、川崎麻世、マルヰアミューズメント















2012年7月21日

福島県、相馬市『狩敷田仮設住宅』で土用のうなぎ炊き出し

(受益者数: 260 人)

相馬市福祉企画課とのコミュニケーションにより『狩敷田仮設住宅』での土用うなぎ炊き出しを実施しました。

高齢の方が多い仮設住宅ですが、子どもたちも多く集まってくれて『リラックマ』ビンゴゲーム大会など盛り上がったイベントになりました。

メニュー:うなぎ丼260食

協力:NPO法人難民を助ける会













2012年7月22日、23日

福島県、西会津での子どもキャンプ参加

(受益者数:30人)

NPO 法人『難民を助ける会』主催の子どもキャンプに参加してきました。

これは放射線量が高くて"外遊び"出来ない子どもたちを安心、安全な場所に連れて行き、思いっきり遊んでもらおうという企画です。

実施中「自宅ではこんな外遊びさせられないから連れてきて良かった」というお母さん の声がとても印象的でした。

プログラム: そば打ち体験、自分で楽器をつくる、絵具を作る、絵を描く、バーベキュー、その他

主催:NPO法人『難民を助ける会』

参加者:6家族18人











2012年8月18日

福島県、相馬市『(通称)ダウ長屋』でのイベント参加、バーベキュー炊き出し (受益者数:40人)

相馬市福祉企画課とのコミュニケーションにより『(通称)ダウ長屋』でのイベント参加及びバーベキュー炊き出しを実施しました。

高齢の方が多い仮設住宅ですが、プロのソプラノ歌手の歌を聞いたり、地元オカリナ演奏グループの合唱「ふるさと相馬」では多くの方が涙を流されていました。

バーベキュー炊き出しでは「久しぶりにこんなに沢山食べたよ」と言っていただけるほど楽しんでいただけました。

メニュー:バーベキュー40食

主催:NPO法人『難民を助ける会』









2012年8月19日

福島県、相馬市主催『復興花火大会』でのイベント『メリーゴーラウンド』、スーパーボールすくい、UFOキャッチャー等

(受益者数: 2000 人)

相馬市からの要請により『復興花火大会』にイベント参加してきました。

滋賀県から移動式の『メリーゴーラウンド』を持ち込み、この日だけのミニ遊園地を再現(搭乗無料)、子どもたちが大喜びしてくれました。

中には十回以上乗る子どももいて「いつもはこんなに遊べないから今日はとても楽しかった、またメリーゴーラウンド持ってきてね」といった女の子の言葉が印象的でした。 メリーゴーラウンド搭乗者:のべ900人

スーパーボールすくい参加者 700人、UFOキャッチャー参加者 600人(いずれも行例)



















2012年8月20日

福島県、相馬市『大野台仮設住宅』でのかき氷炊き出し参加。

(受益者数:120人)

NPO 法人『難民を助ける会』主催のかき氷炊き出しに参加してきました。 当日は猛暑日ということもあってかき氷は大盛況、皆さんに喜ばれました。 かき氷のあとは余ったかき氷を雪に見立てて『真夏の雪合戦』が始まりました。『ピース プロジェクト』小林隊員は子どもたちの標的となり撃沈しました。

主催:認定 NPO 法人『難民を助ける会』

参加者:120名









2012年9月29日(土)、30日(日)

福島県、相馬市福島県相馬市、中村第一小学校でのイベント開催

(受益者数:500人)

横浜モバイルプラネタリウムによるプラネタリウム上映会とリラックマが当たるビンゴ ゲーム、スーパーボールすくい、竹とんぼ、トランポリン

220万もの星を再現できる『メガスター』を使ったプラネタリウム(20分間)、空き時間を利用してビンゴゲーム、スーパーボールすくい等を開催しました。

相馬市にはプラネタリウムがなく、星や星座の勉強できる環境を欲する声にこたえるために実施しました。

定員 40 名を毎回はるかに上回る参加者があり、参加した人からは「とても良かった」と 感謝の声をいただきました(2 日間、10 回上映で 500 名)。

(共催:認定 NPO 法人難民を助ける会)













2012年12月15日(土)、16日(日)

福島県、相馬市福島県相馬市の子どもたちを東京に招いてイベント開催

(受益者数:12人)

相馬市在住の"要フォロー"児童 12 名を東京に招いてディズニーランド、東京スカイツリー見学を実施しました。

今回対象となったのはいわゆる精神的疾患を持った情緒不安定な子どもたちです。外遊 び出来なくてストレスを抱えている子どもたちを目いっぱい遊ばせ、ストレス解消させ ることを目的としました。

(協力:認定 NPO 法人難民を助ける会)

※イベント開催後、担当医師から1名を除いて「これで薬を飲む必要はなくなった」と 薬解除をいただいたそうです。









2012 年の活動合計、出動11 回、受益者総数4,582 人これまでの累計活動合計、出動62 回、受益者累計29,722 人